

2020
3/5 [木]

10時30分 - 16時30分
東屋の建前作業
剪定と植栽

2020
3/6 [金]

10時30分 - 16時30分
東屋の土間三和土作業
粘菌探索



参加者募集

申込締切 / 2月27日 [木]

朝倉市黒川にある「共星の里（廃校利用の美術館）」に、人々が集うための「復興ガーデン」を創るアートプロジェクトです。災害復興支援としての庭づくり第二弾として、地域内外の方々が憩うことができる「東屋（あずまや）」を、被災木によってセルフビルドします。また、草花を植栽し、「土の命」についてのレクチャーや粘菌探索も行います。ぜひご参加ください。

九州大学ソーシャルアトラボ シリーズ「アートと社会包摂」

九州北部豪雨災害復興支援 風と水と土の道・再生のための庭づくり vol.2

黒川復興ガーデンとバイオアート — 英彦山修験道と禅に習う —

東屋と植栽

セルフビルド ワークショップ

参加費 **無料** (要事前申し込み) 定員 15名 申し込み方法は裏面をご覧ください。

場所 **共星の里 黒川INN美術館** 朝倉市黒川 1546-1



九州大学



大学院芸術工学研究院
大学院芸術工学府
芸術工学部



九州大学ソーシャルアートラボ シリーズ「アートと社会包摂」

九州北部豪雨災害復興支援

風と水と土の道・再生のための庭づくり vol.2

黒川復興ガーデンとバイオアート

— 英彦山修験道と禅に習う —

東屋セルフビルドと 植栽ワークショップ

《参加費》 参加費無料

3/5[木]
10:30-16:30

東屋の建前作業(柱、屋根)
剪定と植栽(草花)

3/6[金]
10:30-16:30

10:30- 東屋の土間三和土作業
13:00- 講義「木・微生物・土の命の循環と癒し」と粘菌探索
15:00- ふりかえり

*昼食は弁当等をご持参ください。

*汚れても良い服と歩きやすい靴でご参加ください。天候によっては、雨具をご持参ください。

集合・送迎について

《集合》直接現地にお越しいただくか、車による送迎をご利用ください。

3/5[木]
送迎

- ① 西鉄筑紫駅 西口
集合 8:40—解散 18:50
② 道の駅「三連水車の里あさくら」
集合 9:30—解散 18:00

3/6[金]
送迎

- ① 西鉄筑紫駅 西口
集合 8:40—解散 18:50
② 道の駅「三連水車の里あさくら」
集合 9:30—解散 18:00

お申し込み・お問い合わせ

下記の項目を記載のうえ、メール・FAX のいずれかよりお申し込みください。
またソーシャルアートラボ公式ホームページ内「CONTACT」からもお申し込みいただけます。

《記載事項》

- ①氏名(漢字) ②氏名(フリガナ) ③メールアドレス ④お電話番号
⑤ご住所 ⑥ご所属(任意) ⑦受講の動機(簡単に結構です)
⑧参加日(3/5[木]・3/6[金] 両日またはいずれか)
⑨アクセス方法

「現地集合」または「車での送迎(集合・解散場所の希望/下記)」

- ① 西鉄筑紫駅 西口 ② 道の駅「三連水車の里あさくら」

《申込締切》

2020年2月27日[木] 必着 [定員] 15名

九州大学ソーシャルアートラボ

TEL/FAX 092-553-4552 MAIL sal-cul@design.kyushu-u.ac.jp

WEB <http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp>

ソーシャルアートラボ

復興ガーデンづくり第一弾(2019年9月)の報告は以下のサイトです。

<http://www.design.kyushu-u.ac.jp/~tomotari/2019kurogawa.garden.html>

主催：九州大学大学院芸術工学研究院 ソーシャルアートラボ
共催：共星の里、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団
助成：2019年度文化庁 大学における文化芸術推進事業、
科研費「九州北部豪雨による流水被害の要因と影響：
森林環境政策の合意形成に向けて」(代表：佐藤宣子)
後援：九州大学災害復興支援団、朝倉市、
日本アートマネジメント学会九州部会

九州大学ソーシャルアートラボ

九州大学ソーシャルアートラボは、社会の課題にコミットし、人間どうしの新しいつながりを生み出す芸術実践を「ソーシャルアート」と捉え、新しい生の価値を提示していくことを目的としています。平成30年からは、「アートと社会包摂」をテーマに研究・教育・実践・提言の多方面から取り組んでいます。

ウェブサイト：<http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/>

講師プロフィール

杉岡 世邦 すぎおか としくに (有) 杉岡製材所 代表取締役社長



1969年福岡県朝倉市生まれ。長崎大学経済学部卒、凸版印刷㈱に5年勤務後、家業を継ぐ。三代目。住宅・社寺・文化財等の木材を請け負う。西日本新聞で『木挽棟梁のモノサシ(15回)』、『住まいのモノサシ(42回)』と題しコラムを連載、木造建築の魅力を発信した。2016年より九州大学大学院芸術工学府・博士後期課程入学。九州大学非常勤講師(2016)、福岡大学非常勤講師(2014～)。(社)日本茅葺き文化協会理事、(社)日本板倉建築協会理事。

清水 邦義 しみず くによし 九州大学大学院 農学研究院准教授



九州大学准教授。博士(農学)。森林生物資源の新規生理活性機能解明のための研究を行う。自然の香り成分の心身に及ぼす影響や、高齢性疾患に有効なキノコの成分の探索、自然素材を原料としたアロマ・住環境(スギ内装や畳)等の基礎から社会実装までの研究を展開している。2000年より九州大学勤務。2001年カリフォルニア大学パークレー校 Research Fellow。

柳 和暢 やなぎ かずのぶ 共星の里 アートディレクター



1947年福岡県朝倉市生まれ。1971年に渡米し、30年間をサンフランシスコで過ごす。現代美術作家として国内外で個展やライブペインティングを行うほか、音楽家・喜多郎のライブツアーやアルバムジャケットのアートワークを手掛けるなど、日本、米国、ヨーロッパなどを舞台に幅広く活動を行っている。2000年から廃校利用の美術館「共星の里」のアートディレクターとして企画・運営に携わる。

知足 美加子 ともたり みかこ 九州大学大学院 芸術工学研究院教授



九州大学教授。博士(芸術学)。彫刻家(国画会会員)。山岳修験道学会評議員(英彦山山伏「知足院」の子孫)。九州大学災害復興支援団。ソーシャルアートラボコアメンバー。1999年よりアートプロジェクトおよび復興支援活動を行う。九州北部豪雨災害(2017年)の被災木を活かした彫刻や葉を制作している。

技術サポーター

池上 一則 大工池上算規代表 田中 一成 田主丸グリーンセンター代表
八尋 晋 彫刻家

場所

共星の里 黒川INN美術館 朝倉市黒川 1546-1



【アクセス】大分自動車道甘木・杷木各インターより車で約30分

*充分注意してご通行ください。豪雨の影響により赤色のX印の道路は現在通行不可。

*駐車場は共星の里手前的高木コミュニティセンターをご利用ください

